

令和7年 2月定例会 報告

会派代表質問

上倉 淑敬



一般質問

畠本 久仁枝



学研都市の研究開発の成果と更なる飛躍に繋げる取組を！

学研都市は広域的都市開発から概ね30年が経過したが、これまで研究開発され実用化・事業化された事例や自動運転バスの実装への課題は何か、また「世界トップレベルの研究開発型オープンイノベーション拠点」から次のステージに向け、どのような取組みを進めるのか府の見解を求めてきました。

中小企業や医療機関をサイバー攻撃から守る対策強化を！

近年増加するサイバー攻撃への備えは社会経済活動の重要課題であり、特にサプライチェーンを構成する中小企業や医療機関には情報セキュリティの重要性の認識と意識向上が急務であるが、府の現状認識と対策支援や被害に遭った場合の警察への通報や相談の重要性に係る訴求・啓発の必要性を求めてきました。

西山 龍夫



訪日外国人（観光客）の医療費の未払いについて

日本を訪れたインバウンド客が、滞在中に病気や怪我で病院を受診、入院した場合の医療費未払いが急増し、病院経営を圧迫しています。国も実態調査に乗り出していますが、観光客を積極的に誘致している京都府において、病院にだけ負担を強いるのではなく、対策も必要であると問いました。

救急搬送に係る不適切利用について

救急車の不適切利用が、救急医療を逼迫させる要因の一つになっています。高齢化の進展に伴う救急要請の増加対策はもとより、救急車をタクシー替わりに利用するなどの不適切利用者への対応が必要です。消防部局だけでなく、福祉部局などと連携した取り組みの必要性を求めてきました。

西條 利洋



事務事業評価の確実な履行について

事務事業評価は、公共サービスが効率的かつ効率的に提供されているかチェックするために重要な手法です。京都府の厳しい財政状況において、無駄のない行政運営を徹底する必要があります。まずは、段階的に重点事業に絞って事務事業評価を行うことを提案しました。

移住政策とその評価について

京都府外への人口流失は13年連続となり、2024年は流出幅が更に増加しました。2024年の人口流出増加の結果を踏まえて、その原因と課題を改めて分析する必要があると考えます。現状の移住政策に対する評価指標に加えて、多角的な視点での評価をするために新たな評価指標を追加する必要があると考えます。

国民民主党・日本維新の会 京都府議会議員団

メンバー紹介

MEMBER



北岡 千はる

たかおか ちはる

農商工労働常任委員会

文化力と価値創造に関する特別委員会

